MAH-672A　ZN25　2004年12月1日発行

TOSTEM トステム株式会社

アルミと樹脂の複合サッシ

フォンテプラスⅡ〔台形・三角出窓〕　取付け説明書

■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

●本製品は複層ガラスを使用するため、最大で230kg（ガラスなしで50kg）となりますので下記事項をお守りください。

・下枠が垂れ下がらないように開口部の補強をしてください。補強の詳細については、「1 開口部の作り方」に従ってください。障子の外れや気密・水密性能を損なうおそれがあります。

・製品を運んだり取付ける場合は、重量に見合った人数で作業を行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

■取付け上のお願い

●必ず同梱の木ねじで枠をしっかり固定してください。

●樹脂部材のねじ止めは、締めすぎないようにしてください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。

●樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶつけたり、こすったりしないでください。

●ロール網戸を取付ける場合は、額縁部を枠端部から25mm以内に納めてください。25mmより内側になるとロール網戸が取付けられなくなります。

■部品・ねじ一覧表

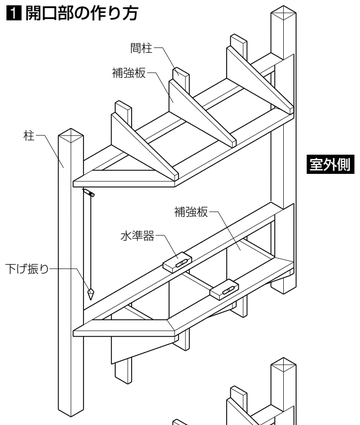
※下表の記号㋑～㋭は本文中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

㋑	㋺	㋩
丸木ねじφ3.8×38	皿木ねじφ3.8×45	皿木ねじφ3.5×32

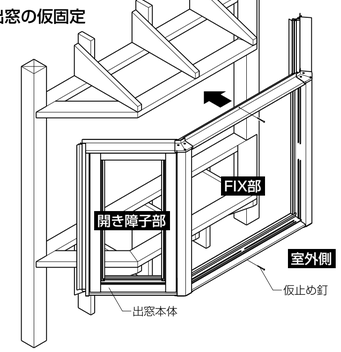
㋥	㋭
額縁アタッチメント	Lアングル

■取付け順序

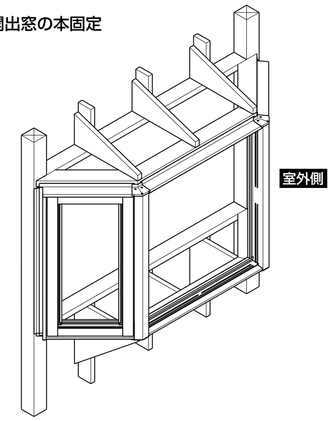
1 開口部の作り方



2 出窓の仮固定



3 開出窓の本固定



■取付け詳細

1 開口部の作り方

①複層ガラスが入るため、かなりの重量が窓台にかかります。下図を参考にして十分に補強してください。（呼称16513で80kg、呼称25618で180kg）

②窓台は、45×105mm以上の材料を使用してください。

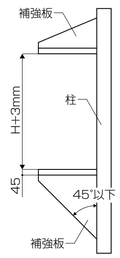
③補強板は、板厚30mm以上（窓台側は、取付け角度45°以下）とします。

④間柱は、柱の2つ割又は3つ割材を使用してください。

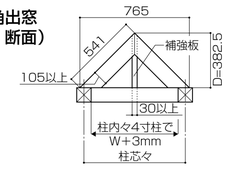
⑤開口部の水平・垂直及び取付け面の平面を確実に出してください。

※開口寸法が正確に出ないと、取付けられない場合があります。

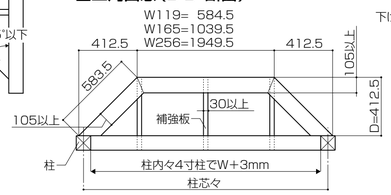
■共通（A-A' 断面）

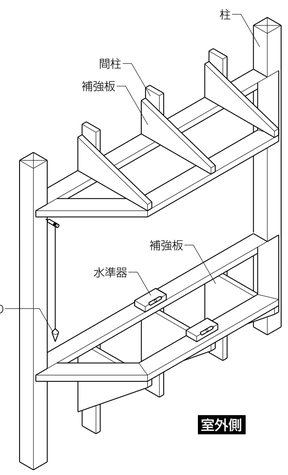


■三角出窓（B-B' 断面）



■三角出窓（B-B' 断面）





2 3 出窓の仮固定及び本固定

①開口部の水平・垂直及び平面を確認します。

②出窓を開口部に差込みます。

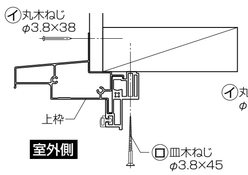
③出窓を窓台に乗せ、左右のあきを均等にします。

④上枠を仮止めし、枠の水平・垂直・ねじれを調整した後、丸木ねじで本固定します。

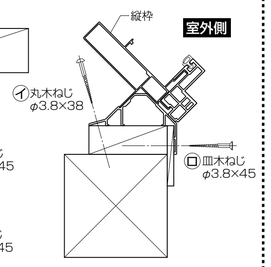
※室内側は、皿木ねじで固定します。

■取付け詳細

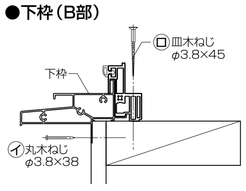
●上枠（A部）

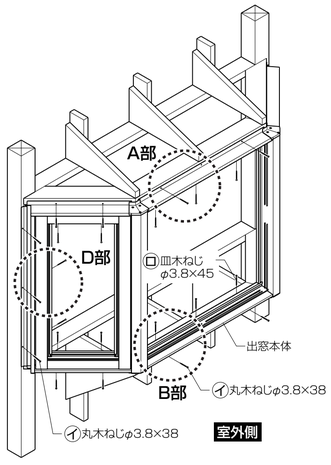


●縦枠（C部）



●下枠（B部）

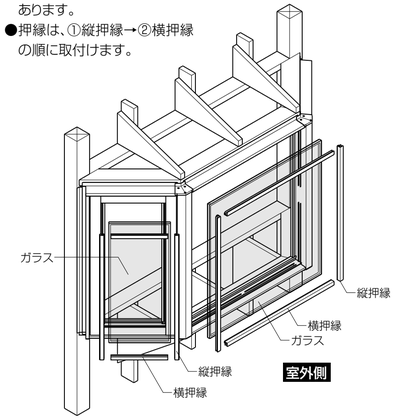




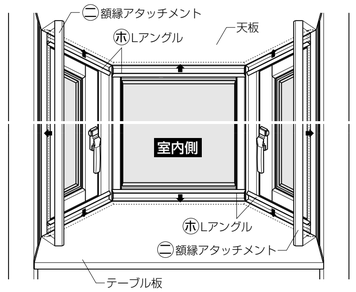
4 ガラス入れと押縁の取付け

※ガラス寸法は、段ボールに表示してあります。

●押縁は、①縦押縁→②横押縁の順に取付けます。

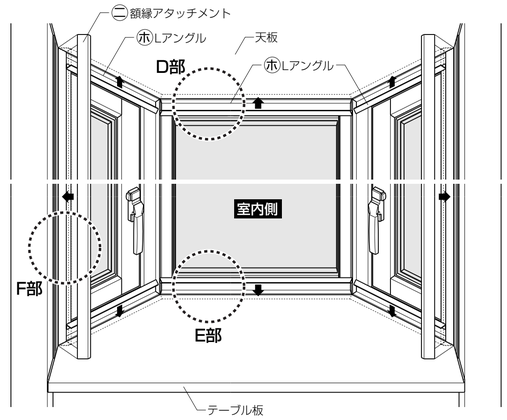


5 Lアングル・額縁アタッチメントの取付け

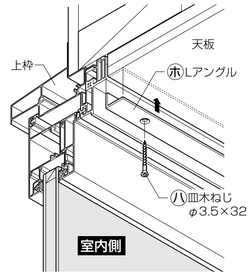


5 Lアングル・額縁アタッチメントの取付け

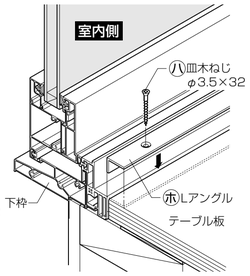
●内装仕上げ（テーブル板・天板・造作材）時に、Lアングル・額縁アタッチメントを取付けます。



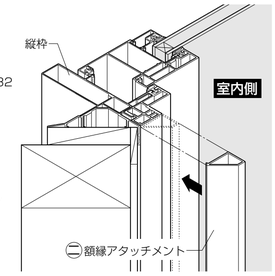
■上枠（D部詳細図）



■下枠（E部詳細図）

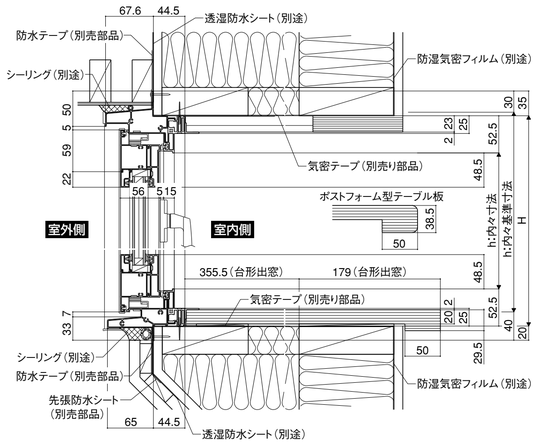


■縦枠（F部詳細図）

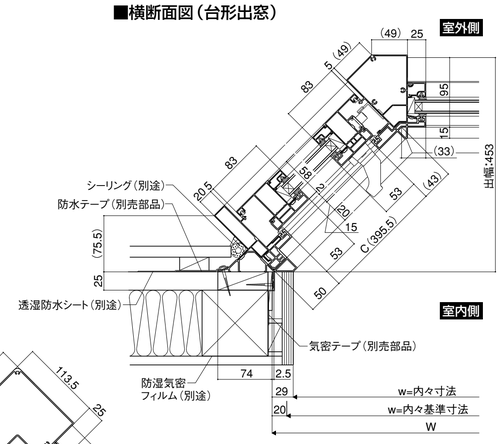
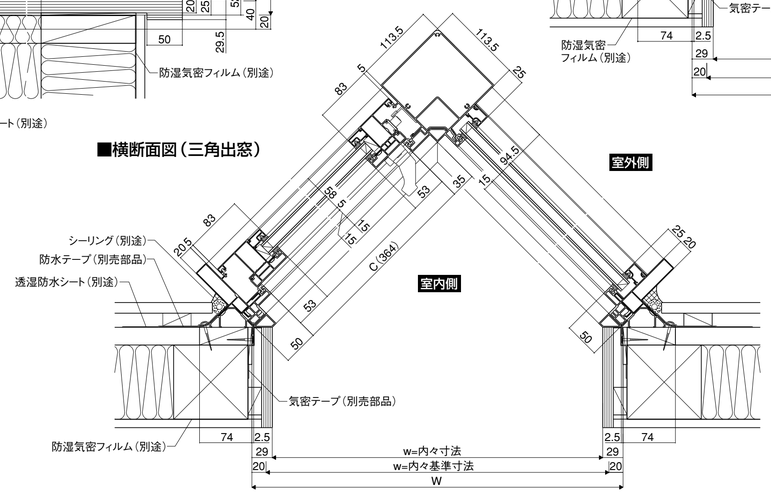


■参考納まり図

■縦断面図



■横断面図（台形出窓）



■横断面図（三角出窓）